

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校演劇鑑賞教室				所管	教育委員会 指導課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	53	計画事業名	子どもの文化教育の充実		事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出					[事業開始] 年度	
		[小 柱] (4)文化的なまちづくり						
		[施策] ② だれもが文化を享受できる環境づくり[24]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	その他		[法令等名]	学習指導要領			
	事業対象	区立小学校6年生						
	事業目的	区立小学校の児童が能・狂言を鑑賞することにより、伝統芸能に触れる機会を通して創造性を養い、情操豊かな児童の育成及び鑑賞態度を身に付けさせる。						
	事業内容	能や狂言を鑑賞する機会を与え、伝統芸能に触れ、そのよさを理解するとともに鑑賞のマナー等を学ぶ。						
委託の有無	一部委託		委託内容	能・狂言の公演 舞台装置設置作業				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	鑑賞会開催 (回)		2	2	2	2	
	成果指標	参加児童 (人)		1,030	1,130	1,085	1,035	
	決算額 (単位：千円)				3,729	3,729	3,728	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			360	250	256	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			3,730	3,729	3,728	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			4,090	3,979	3,984	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
一般財源 (区負担額)			4,090	3,979	3,984			
前年度から改善した事項		プログラムにイラスト入りの解説を加え、児童により能や狂言の内容に興味を持てるように工夫した。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	本事業は各学校の教育課程に位置づけられており、能や狂言を鑑賞し伝統文化を学ぶことで、情操教育を進め、また鑑賞マナーを身につけさせるためにも必要性は高い。					
	効率性	3	区有施設を利用し、1日2回の公演で多くの児童が鑑賞できるようにしており、効率性は高い。					
	手段の適切性	3	区内で能・狂言の活動をしている事業者へ委託し、公演の演目を吟味し公演を行っている。児童が伝統文化に触れ、学ぶ経験ができており適切な事業実施ができています。					
	目的達成度	4	多くの児童が伝統文化をに触れ、学ぶ経験ができて事業目標は達成できている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
能や狂言の鑑賞を通して子どもの創造性を高める本事業は情操教育において効果的である。 また、鑑賞態度を身につけさせるためにも必要である。引き続き継続して事業を実施する。						維持		